

平成 26 年 7 月 19 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム

平成 26 年度第 6 回

論語からイメージを浮かべる

先程の野村幹事による素読は、声の出し方も読み方もとても良うございました。何度も練習をされたのでしょう。イメージが浮かびました。今日は論語の解説から致しましょう。本日は子路篇 1、2 です。

【一】子路 政を問う。子曰く、之に先んじ之に勞すと。益を請う。曰く、倦むこと無かれと。

この時、子路は 45 歳です。ちょうど脂の乗りきった良い頃です。

子路が政治の要諦を孔子に聞きました。

孔子が答えました。「民の先頭に立って働き、そして民を十分に労わりなさい。」

子路が、もっと教えて欲しいとお願いしたので、

「お前は飽きっぽいから、途中で放り投げてはいけない。」と付け加えました。

子路は勇氣はあるけれども思慮分別が足りないので、孔子が諭しています。

「之に先んじ之に勞すと」という部分で考えます。3. 1 1 を思い出して戴くと非常に分かりやすいと思います。

先日、同友会の講演会で、岩手県大船渡市に本社を置くスーパー「マイヤ」社長の米谷春夫さんのお話を伺いました。「マイヤ」は十数店舗を展開し、三陸沿岸地域で圧倒的な販売力を誇るスーパーです。3. 1 1 の時、陸前高田市役所では非難した人 82 名が亡くなったそうですが、その隣にあった「マイヤ」の店舗に逃げ込んだ人達は誰も死ななかつた。それは何故か・・・。

ここで「政」が関係します。政をする人は、先の事を予測しなければいけません。率先垂範で、危ないと思ったら事前に対応しておく。「マイヤ」の社長さんは 99% の確率で大きな災害が来ると聞いていたから、先代からずっと訓練していたのだそうです。それは津波を想定してではなく、火災を想定しての訓練だったそうですが、煙が充満した店の壁を

つたって四つん這いになって逃げる訓練とか、窓からロープを垂らして伝って逃げる訓練等を徹底してやっていたそうです。そういった事前の訓練が行き届いていたから迅速な対応が出来たのでしょう。

一方、思い出すのが小沢さんです。3. 1 1の時、現地の人々の感覚では、小沢さんは真っ先に駆け付けて来ると思っていた。ところが3年経って、やっと顔を出しました。そんな人は要りませんね。政を司る人は、大きな災害があったら率先垂範で現地に駆け付けるべきです。その反面教師を小沢さんがやったのですから、その後に奥様から三下り半を突きつけられたのは、さもありなんという気が致します。

「政を問う」という部分で、上の人は先に汗を流し、そして後でご苦労様とねぎらう・・・そういうイメージが浮かんで来ればよろしいでしょう。国家レベルを考えるのか、自分の関係している会社や自治体を考えるのか、家族や自分自身を考えるのか、「政」という文字で何かをイメージして戴ければよろしいでしょう。イメージは何でもよいのです。

「倦むこと無かれ」という部分では、野村さんの素読で、私はAKBが浮かびました。先日、握手会で斬りつけられるという事件がありました。女の子たちのグループという印象ですが、最初は自分たちが一所懸命練習して舞台に出ても僅かなお客さんしかいなかった。でも必ず花が開くと思って、「倦むこと無かれ」でずっと続けていたら、火がついて国民的なアイドルになったとテレビで放送していました。

【二】仲弓 季氏の幸と為り、政を問う。子曰く、有司を先にし、小過を赦し、賢才を挙げよと。曰く、焉ぞ賢才を知りて之を挙げんと。曰く、爾が知る所を挙げよ。爾が知らざる所は、人 其れ諸を舎かんやと。

仲弓は孔子より29歳若いお弟子さんです。26歳から31歳までの5年間、子路の後任として季子の家老となりました。その仲弓が孔子に政治の要諦を聞きました。

孔子が答えました。「良い役人を選んで、良いポジションにつけなさい。小さな過ちは赦して、優れた才能を持っている人間を登用しなさい。」

仲弓が更に聞きました。「どうやって優れた能力を持っている者を見つけ出せばよいのですか。」

孔子が、「お前が知っている中で優れていると思う者を登用すればよい。そうすれば、あの人々が抜擢されたのなら私も優遇して貰えるだろうと人が集まってくる。尚且つ、そうやってお前が一所懸命やっていたら、周りが応援をしたくなるものだ。」

「人 其れ諸を舍かんやと」という部分で私の頭に浮かんだのは、「超高速参勤交代」という映画です。無茶な参勤交代を言いつけられたお殿様が、家来たちと禪姿で懸命に走り、関所に来たらきちんとした格好をして通り抜け、また山道を必死に走っていく。お殿様の一所懸命やっている姿を見て、周りの人がみな手伝ってくれ無事に参勤交代を終えるという映画でした。

皆さんは何をイメージしますか。自分自身の仕事ぶりはどうでしょうか。或いは、周りを見て「あの人は能力があるからこういう仕事を頼もうという人材が浮かびましたか。同時に、自分が困っている時や何かをしたい時に、誰かが助けてくれるような人物になっているか、自問自答するとよろしいでしょう。

本日のテーマ — お金の苦勞—

今日ご紹介する本は、『森信三語録 心魂に響く言葉』寺田一清編述 致知出版社です。今日のテーマも、この中からとりました。

金の苦勞を知らない人は、その人柄がいかにも良くて、どこか喰い足りぬところがある。人の苦しみの察しがつかぬからである。

皆さんはお金の苦勞をしたことがありますか？ お金に限らず辛い思い、人生真っ暗という経験をされた方はおられますか？

先程のスーパー「マイヤ」の米谷社長は 67 歳。大学を出て順調に生きて来たけれども、還暦を過ぎてから、自分の人生はこんなに順調でよいのだろうか？ と、何となく感じていたそうです。そうしたら、3.11 が起きてしまった。ご自分のお母様も亡くなり、被災した社員は 350 人。解雇すれば 7、8 割の失業保険が入るということで、350 人の社員を解雇したそうです。驚いたのは、震災当日の夕方 4 時から夜の 10 時まで、残った店舗で食品を販売したそうです。とにかくこの地域に住んでいる人達を飢えさせてはならない、食べ物を絶対に供給する、という社長の決意で、加盟しているグループ系列のスーパーから、震災当日に食品を届けてもらったそうです。自社の仕入れ先から商品が届いたのは、14 日からだったと云います。自分の肉親も亡くなる、社員の家族も亡くなる、家は倒壊する・・・そういう辛い状況になって、<なるほどこういうことか>と感じたそうです。そして、これから 3.11 以上の大地震が来ると言われているので、それに向けた対応を一所懸命やりだしている、とも言うておられました。

「金の苦勞を知らない人」ということを、辛くてどうにもならない体験をしている人と読み替えても結構です。人の苦しみとか悲しみ、切なさを我が身で感じる事ができなければ、いくら人柄が良くてもやはりどこか足りないという感じがします。先ほど皆さんにお

聞きしましたが、私もお金の苦労は無いのです。会社を創業した頃は社員の給料を払うのにも必死で、資金繰りの大変さは重々承知していますが、苦労と思ったことはありません。ただ娘が亡くなった後は、どうにもならない切ない思いをしました。今、ようやく気持ちを転換することを覚えました。車を運転していてふっと異次元に意識が行く感覚があります。そうすると慌てて車を脇に止めて、気持ちをなだめてから動くようにしています。マイヤの社長さんも肉親を亡くされ辛くてどうにもならないという経験をされて、「人間的な深みとか相手の辛さを察する心とかが、がらんと変わった」と言っておられました。

取えて辛い思いをすることはありませんが、そういう気持ちをどこかで持った方が良いなと思います。お金も大切に思うと、お札を財布に入れる時もお金を出す時も大事に扱うようになりますね。やはりお金の有難みをしみじみ感じた人が、お金を活かせるのではないかと思います。

恒例の質問

では、恒例の質問を致します。

○ 昨日一日、嘘をつかなかった方

嘘をつくとは何となく気持ちがすっきりしません。嘘をついて失敗したなあと思って寝ると、翌朝の目覚めが悪い。嘘にはそういう作用があります。

○ 昨日一日、良い日だったという方

良い事が少しでもあったら、嫌な事や悪い事は忘れる。天秤にかけないで、良いことだけを思い出せばよいのです。

○ 昨日一日、有難うと言ひ・有難うと言われた方

「有難う」と言うのは当たり前ですが、「有難う」と言われることは少ない。出来るだけ「有難うございます」と言われるようなことをしてあげる、それが当たり前になると嬉しいですね。

○ 昨日から現在まで、健康法を実践した方

今日初めて参加された方がおられますので、一つ健康法をご紹介します。前に出てきて身体を曲げてみてください。(実践)・・・身体が硬いようですね。前屈する時は、反動をつけずにゆっくり曲げて、止まった所で息をハーッと吐きながらお腹を腿につけるようなつもりで曲げます。指先が床に着かなければ 60 代、着くか着かないかが 50 代、きちんと着くと 40 代です。30 代は握りこぶしが着く。皆さんは何十代でしょうか。

○ 昨晚眠る時に、明日以降のことを過去形でイメージ出来た方

手が拳がった方は、大金持ちとは言いませんが、中金持ちくらいになる可能性があります。

す。

「知足」が世界を救う

私は扁平足で長年足の痛みに悩んで色々な靴を試していますが、なかなか治りません。先日、足のクリニックという足専門のお医者さんが出来たと聞いて出かけてみました。確かに専門家だと感じました。その日、両足に注射をしたら痛みがすっとなくなりました。半年間は効果があるということです。もう一つ私が感心したのは、私の足がどういう状態かをきちんと説明してくれて、今後のアドバイスも下さいました。そして、それが納得できたことです。本物の専門家は良いですね。

ただ、専門家ですから足についてはどういうふうにおかしくなるとか、治療の仕方はよく知っているのですが、人体の中で何故足が大事かということについては知りませんでした。ですから足の専門家に「知足」の講釈をして来ました。今のお医者さんは専門に偏っているので、総合的な治療が出来ないのです。一部分についてはプロなのですが、総合的にみる力がない。おかしな話ですが今の世の中は、おしなべてそうになっていると思います。

我々の基本哲学である「知足」（足るを知る）をよく身体に入れれば、総合的な判断力が身に付くと私は考えています。木内信胤先生の言われる「総合的直観力」です。現代はグローバルイズムでアメリカがどんどん世界に自分達の考え方を広げていきましたから、西洋の分析的な考え方が広がり、分析することは非常に上手になった。けれども総合的にまとめる力が失われてしまいました。しかし流れからいって、今はちょうど総合に来ています。そこで、「知足」が世の中を救う考え方だと私は思っています。

日本は今とてもおかしな国になっていますが、日本を救う考え方も「知足」です。「足るを知る」(ほどほど・がつつかない・あれもこれも欲しがらない・今あるもので満足する・・・)を広げると、「おかげさまで」「ありがとう」「すみません」「いただきます」「失礼します」といった言葉も含まれてくる。日本語の中に込められている日本の歴史、それをよく考えれば「知足」は素晴らしい言葉であり考え方だと分かります。知足の考え方をしっかり自分の身体の中に入れられたなら、おそらく外国人に対しても日本という国について説明が出来ようになるでしょう。

「足るを知る」は日本を救う言葉であるとともに、世界を救う言葉であると思います。「世界を救う」というと現実味がないかもしれませんが、先月お話ししました論語寺子屋サミットで、論語の権威である伊與田覚先生が「第三次世界大戦が始まりそうだという予感を五体に感じている。是非そうならないように努力して戴きたい」と言われました。私も今年

の初めに「今年は日本が戦争に巻き込まれる危険性が非常に高まる」と申しあげています。アメリカの国力が落ちたから、ロシアが領土拡張を図っている。ロシアと中国は水面下で手を握っていますから、ロシアに対するアメリカの出方を見て、中国も領有権拡大戦略を打っています。それを見て北朝鮮や韓国も少し水面下で動いている。そういう状況です。

翻って日本国内をみると、安倍さんが一所懸命「徴兵制の復活などありません！」などと言っていますが、強く否定し過ぎている感じがします。国民投票法改正で18歳以上に選挙権を持たせる。そうすると4年後にどうなるか……。仮に北朝鮮からミサイルが飛んできて日本に落ちたとすると、徴兵制の復活が話題になりますね。そうすると18歳以上が対象になるでしょう。

スイスの自衛策はどうなっているか調べてみましょう。あえだけ平和を謳っている国が、攻撃を受けた場合は国民老若男女どう戦うかを決めていて、家庭の中でも実践しているのです。韓国には対北朝鮮の攻撃に備えて敵の戦車を止めるため、道路の要所毎に爆破が出来る仕組みになっているゲートがありましたし、ロシアの地下鉄は核対策のために非常に深い所に掘ってあります。そういう意識でみると、世界各国はもうピリピリしています。日本だけが能天気と言わざるを得ません。

「世界を救う」という考え方については、また戦争が起きて、それを何とか治めるのに日本の「足るを知る」という考え方が非常に役に立つと思っています。日本は縄文時代から数えると1万3千年～6千年の歴史がありますが、平和の時代がずっと続いたわけではありません。平和な時代が続くと、次は戦争の時代が続く。戦争が一段落すると、平和な時代が来る。今は平和な時代ですから、平和が終わったら次は戦争になるということは歴史の必然です。これは文明法則史学という学問で考えてみたり、60年周期の歴史で調べてみてもよいでしょう。そうすると、今は大きな文明の転換期に来ているわけですから、戦争が起きないわけがないと思っています。それを救うものが「知足」という考え方です。

時事評論

・水素自動車普及へ支援表明

今朝の日経新聞に、「政府は水素で走る燃料電池車の普及を促進するため、購入時に200万を助成する制度を創設する」とありました。そして、「全国に100カ所以上の水素ステーションをつくる意向を示した」ともありました。

これは何を意味するか。水素自動車について、何かを連想してみましょう。

(会員) 原油の輸入が減るから貿易赤字が減少する (燃料ゲーム)

(会員) 環境問題に好影響

(会員) 技術的な面で危険性の不安がある

(会員) 外交問題

・・・有難うございます。三人寄れば文殊の知恵と言いますが、これだけの方がおられれば色々な知恵が出ます。一つのものから何が考えられるか、新聞記事一つからどんどんイメージを広げていくとよろしいですね。色々な知識を集めてみると、水素自動車から日本の国がこれからどのように世界相手にビジネスをしていけばよいか、という切り口が一つ見えてきます。

・ 5 都道県で最低賃金が生活保護水準下回る

今現在の最低賃金が全国平均で 764 円です。「最低賃金で働いた場合の手取り収入が生活保護の受給水準を下回る逆転現象が 5 都道県であった。2013 年度の最低賃金引き上げ後は北海道だけだったが、最新のデータで比べると宮城、東京、兵庫、広島 の 4 都県でも生じていた」とあります。昨年最低賃金を上げたけれども、社会保険料が上がった為に、また逆転したということですが、言い方を変えると、一所懸命働いて稼ぐよりは生活保護を貰った方が収入が多いということです。

国の生活保護に対するやり方はまるっきり変わりました。以前は、生活保護を受けたい人はどうぞいらっしゃいで、道端で寝ているホームレスの人をかき集めて生活保護費を渡していたような状況でした。今は全然違います。生活保護の申請をしたいと役所に行っても、門前払いで出さない。無い袖は振れぬということでしょうが、おかしいですね。社会保険料が上がるのが影響したとありますが、何のことはない税金です。

税金について、本質・大局・歴史から考えます。

論語に、「哀公、有若に問うて曰わく、年饑えて用足らず、之を如何にせん。有若対えて曰わく、盍ぞ徹せざるや。」とあります。哀公が孔子のお弟子さんの有若に「今年は飢饉で税金が二割では足りない。どうすればよかろう」と聞いた。有若が「二割は取り過ぎですから、一割にしたら如何でしょう」と答えた、という孔子の時代の税金の話です。

外国の税金はどうでしょうか。渡部昇一さんの本に「名だたる大英帝国イギリスは税金を取り過ぎたのでアメリカに覇権が移った」と書かれていました。覇権国家だった頃のイギリスは幾らくらいの酷税だったと思いますか？ なんと、不労所得の人は 98% だそうです。汗流して働いている人の税金が 80% 以上。働くのが馬鹿らしくなった人が増え、結果としてイギリスは駄目になったわけです。

さて日本では、ここ 100 年くらいの中に、べらぼうに税金を取ったことがあります。終戦

直後、92%です。源泉徴収も年金も戦費調達の為だったという話は何度もしていますが、外国からも相当な借金をしました。それをどうやって返すか、当時、渋澤栄一さんのお孫さんが大蔵大臣をしていましたが、木内信胤先生も絡んで7、8人の密室の会議で決めたと云います。それは、金持ちから金を取れば良いという結論でした。当の大蔵大臣であった渋沢敬三さんは、自分の家を物納しています。ですから国家という存在は、税金を簡単に調整するわけです。

江戸時代の年貢は、三公七民（年貢は三割）が普通でした。これが五公五民になると百姓一揆が起きた。四公六民でも一揆が起きる可能性がありました。イギリスの社会学者パーキンソンは、「税金は36%が分岐点で、それ以上取るとその国は滅びる方向へ向かう」と言っていますから、東洋も西洋も不思議と一致しますね。

日本は現在、最高税率50%です。所得税が最高税率40%で住民税が10%ですから、あわせて50%。それに来年は所得税が5%上がりますから、4356万以上の所得がある人達は55%になります。消費税や何やらの間接税を考えれば、実感としては六公四民です。一揆が起きてもおかしくない時代に日本は入っている。色々と目くらましをかけているから、一揆が起きないだけです。

渡部昇一さんの本には、他にも面白い内容が書かれていました。例えば、安い税金は良い税金、安い税金しかとらない国は良い国で、高い税金をとる国は悪い国、その基準は3割だそうです。一番良い国は1割で、ギリシャ・ローマの時代の税金は1割、キリスト教会が協会に納めさせた税金も1割を目途としていたそうです。図らずも東洋も西洋も税金は1割が良いということが書いてありました。

そうすると税金について歴史的に眺め、大局で色々な国々の状況を眺め、税金の本質は何かを考える。そこから、果たして日本の国はどのような方向に進むのかを考えることが肝要です。皆様方お考え戴きたいと思います。

・ヤフー新サービス開始

昨日の朝日新聞の記事です。「ヤフーが、生前にブログなどのクラウドサービスで保存していた画像や文書などを、その人が亡くなった時に無料で削除するサービスを始めた」とありました。生前に申し込んでおくと、亡くなった時にヤフーが提携する葬儀仲介会社を使えば、無料で削除するというものです。

今は、お金を払ってサービスを頼む時代ではなくなっていると感じます。無料でサービスを提供して、その後ろで金儲けをする。目先はエサですから、無料につられてぱくっと食いつくと、後ろが儲かって本人はほんの少しという構図です。だんだんお金がお金とし

て機能を失くなって来つつあることが、透けて見えてきます。

- ・マレーシア航空機撃墜

昨日のテレビでも流れていましたが、驚きました。「マレーシア航空機がウクライナ東部で撃墜されて 298 人全員死亡。アメリカ大統領が新ロシア派地域からミサイルが発射されたと発表」とあります。ウクライナ政府がブラックボックスを回収したとありますから、内容についてはすぐに解明されるでしょう。

ここから見えるのは、過去の大きな戦は皆、偶発的な事故から始まっている。どちらが撃ったか分からないけれども、一発の銃弾にお返しをし、またそのお返しをしているうちにとんでもない状況になってくる。それが第一次世界大戦、第二次世界大戦の入口なのだから、第三次世界大戦も同じように始まるでしょう。明確に戦争を意識して始めるのではない、偶発的なものが重なりあっている。ただし後ろには戦争をしようと思っている連中が控えているから始まったわけですが、出だしは偶発的なものです。

マレーシア航空機撃墜は、どうも偶発的なものを狙って仕掛けたのだと私は思います。明らかに戦争をしたいと思う連中がいる。ですから起きないわけがないと思っています。

新聞を見たら、どういうふうにイメージを広げていくか、同時にその裏付けをしっかりとった上で、自分の考えを深めていくことが肝要です。それを繰り返していくと、新聞の見方ががらっと変わって来ます。自分自身を磨くのに大いに役に立ちます。そして周りの方にも役立たせて戴きたいと思います。